今月のニュース

ふっかちゃんが地域活動でグランプリ受賞!

●問い合わせ　協働推進課（☎574－6658）

『ゆるキャラfor チルドレン2015』初代グランプリに！

『ゆるキャラグランプリ2015』と同時開催された、地域ぐるみで子どもを守る活動をしているゆるキャラに贈られる『ゆるキャラforチルドレン2015』で、市イメージキャラクター『ふっかちゃん』は初代グランプリに輝きました。

▲表彰式で、皆さんに感謝のお辞儀をするふっかちゃん

子どもたちの健やかな成長を支える活動に注目！

ふっかちゃんは誕生以来、毎年市内の小・中学校を訪問し、交通事故や犯罪被害の防止を呼び掛ける活動を行っています。その活動に対し、昨年深谷警察署からふっかちゃんへ感謝状が贈呈されました。

また、平成24年12月にふっかちゃんの名を冠した『ふっかちゃん子ども福祉基金』を創設しました。

この基金は、市民・団体からの寄付金や、ふっかちゃん関連商品収益金の一部からの寄付金などが原資です。これまでに約6000万円を超える寄付金を基金に積み立て、市内の障害を持つ子どもたちに対するスポーツ補装具や補聴器、学習支援のためのタブレット端末などの購入費助成に活用してきました。さらに『ご当地キャラ福祉の輪協議会』を設立し、この活動を全国へ広げていくために取り組んでいます。

今回の『ゆるキャラforチルドレン2015』グランプリ受賞は、こうしたふっかちゃんを活用した数々の活動が総合的に評価されたものです。市では今後も、ふっかちゃんの知名度を積極的に活用して、子どもたちの健やかな成長のため、子育て支援の充実に努めます。

マイナンバー『個人番号カード』の交付が始まります

●問い合わせ　市民課（☎574－6640）

申請に基づき、1月から順次交付が始まります

マイナンバー（個人番号）が記載された『通知カード』に同封されている『個人番号カード交付申請書兼電子証明書発行申請書』により、個人番号カードの申請を行ったかたへ、1月から順次交付が始まります。

個人番号カードの受け取り手順

❶個人番号カードが出来上がると、市民課から交付通知書が届きます。

❷通知書が届いたら、市ホームページ内の予約システムで、個人番号カードの受領の予約をしてください。（ホームページを見られない場合には電話での予約も可能です。）

❸原則、本人が市民課へお越しください。交付窓口で本人確認の上、暗証番号を設定し、カードを受け取ることができます。（暗証番号はあらかじめ決めてからお越しください。）

なお、受け取りには次の物が必要です。

①市民課から送付された交付通知書
②通知カード
③本人および代理人の確認書類
④代理権の確認書類など
⑤住民基本台帳カード（お持ちのかたのみ）

※詳しくは、市民課へお問い合わせください。

受け取った個人番号カードは大切に保管してください

個人番号カードの初回交付手数料は無料ですが、紛失などによる再発行は有料です。大切に保管してください。

▲個人番号カード（表）

▲個人番号カード（裏）

『第7期ふかや市民大学』の受講生募集

●問い合わせ　ふかや市民大学事務局（生涯学習スポーツ振興課・☎572－9581）

『ふかや市民大学』は、市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、学習を通して人と人とがつながり、学習成果をまちづくりに生かすことを目的として実施します。

対象　次の要件を全て満たすかた
■市内在住・在勤
■深谷市に関心があり、地域に積極的に関わる意欲がある
■4月1日㈮現在で16歳以上

とき　原則毎月2回・土曜日午前9時30分～正午（開校式を含む全20回）

定員　80人（応募者多数の場合は抽選。市内在住の新規応募者優先）

人学金（学費）　1万円
※市外での講座および芸術鑑賞の入場料などは、別途負担

申し込み　1月5日㈫～2月29日㈪までに電話で問い合わせ先へ。または、応募用紙を直接問い合わせ先か、総合支所市民生活課、公民館へ

とき	内容（講座テーマなど）
4月16日㈯	開校式、学長講話 、オリエンテーションなど
5月 7日㈯	渋沢栄一の人間的魅力にふれる
5月21日㈯	市民協働のボランティア団体
6月 4日㈯	渋沢栄一関連施設現地学習
6月18日㈯	市民と深谷市の協働活動
7月 2日㈯	川本地区の伝統芸能
7月16日㈯	災害への備え 普通救命講習
9月10日㈯	市民主体のまちづくり
9月24日㈯	和算家　藤田雄山貞資（ふじたゆうざんさだすけ）
10月 8日㈯	埼玉工業大学講座
10月29日㈯	認知症サポーター養成講座
11月12日㈯	東都医療大学講座
11月19日㈯	成年後見制度
12月 3日㈯	詐欺、悪徳商法などの消費生活講座
12月17日㈯	深谷市の歴史
1月14日㈯	コンサート
1月21日㈯	ロコモティブシンドローム予防講座
2月 4日㈯	国際理解と交流活動
2月18日㈯	副学長講話、卒業式

※講座内容・日程などは変更になる場合があります。

未来につながる深谷の財政 No.3

自主財源の確保は『待ったなし！』

前回、深谷市が将来にわたり持続可能な行財政運営を行うためには、国や県からの依存税源に過度に頼らず、市税を中心とした自主財源の確保が求められているとお伝えしました。

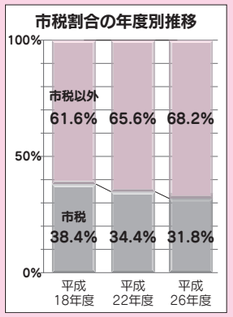
しかし、自主財源の要である市税の歳入に占める割合は徐々に低下しており、左の棒グラフ（市税割合の年度別推移）が示すとおり、平成26年度決算では全体の約3割にまで低下しています。

またその割合は、下表（市税比率ランキング）が示す通り、県内他市と比較しても低いことがわかります。

住民サービスに必要な歳出に対し、自主財源で足りない部分は、国や県からの補助金などで補っていますが、国や県の財政状況もゆとりがなく、今後もそれが継続するとは限りません。

深谷市の財政には、待ったなしで、市税を始めとする自主財源の確保が求められています。

問い合わせ　財政課（☎574－6632）



市税比率ランキング（県内全40市）

順位	平成18年度	平成22年度	平成26年度
1位	60.9%	58.5%	57.0%
2位	59.3%	56.7%	55.6%
：	：	：	：
県内市平均	52.1%	48.1%	45.8%
：	：	：	：
38位	41.2%	37.2%	32.5%
39位(深谷市)	38.4%	34.4%	31.8%
40位	29.9%	30.0%	29.3%